令和５年度
香川大学当初予算の概要

１．予算編成の基本的な考え方

令和５年度は、第４期中期目標・中期計画を推進するため、本学の基本的な目標である『近未来のあるべき社会の姿を見据え、「持続可能な地方分散型社会の実現に貢献する人材の育成と研究の推進」をそのビジョンに掲げ、直面する社会課題の解決に取り組むとともに、新たな価値と魅力を創造し、地域から世界に発信する』の実現に向け、戦略的かつ効果的な予算編成を行うこととする。

特に、次の取組みについて重点的に推進する。

・イノベーションデザイン研究所内に組織した創発科学研究拠点（産学共創リサーチ・ファーム）において、大学院創発科学研究科と連携しながら、既存の学問分野を超え、画期的な知や解決策の導出に関わるイノベーション創出研究の推進
・ＤＸ推進統合拠点を新たに組織し、情報メディアセンター、地域人材共創センター、イノベーションデザイン研究所、大学院教学センターなどと連携して、教育・研究環境や大学業務のＤＸ化に向けたデジタルＯＮＥ戦略の推進
・イノベーションの創出などの取組みに向けたＤＲＩ教育の一層の推進
・社会人のための多様なリカレント教育・リスキリング教育の推進
・ＳＤＧｓの実現に向けた取組みの推進（特にカーボンニュートラル、ダイバーシティの推進）
・ＤＸ統合生体医農工学共用システムの整備による研究環境のＩＴ化推進
・医学部総合教育・研究棟改修事業の着実な推進
・「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の評価を踏まえた取組みの一層の推進
・光熱費をはじめとする物価高騰を踏まえ、徹底したコスト削減を行い、限られた財源を効果的に活用することにより教育研究及び地域貢献を積極的に推進

２．予算額と収支内訳

（１）予算額は前年度より１，３４３百万円増加の３９，６９０百万円

令和５年度予算　（単位：百万円，％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増　減　額	増　減　率
学部等	13,146	13,160	▲14	▲0.1
附属病院	26,544	25,187	1,357	5.4
合　　計	39,690	38,347	1,343	3.5

令和４年度補正予算繰越分

区　　分	内　　容
学部等	・ＤＸ統合生体医農工学共用システム整備事業

（２）収入内訳

運営費交付金は、退職手当の減等により５４百万円の減少、補助金等収入は、香川県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（空床補償）の減等により１５０百万円の減少、附属病院収入は、病床稼働率の上昇等により１，２４０百万円の増加、雑収入は、附属病院の敷地内薬局に係る土地貸付料収入の増等により２６２百万円の増加。

（単位：百万円，％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	増減率	令和５年度収入割合
運営費交付金	10,182	10,236	▲54	▲0.5	25.7
学生納付金収入	3,915	3,880	35	0.9	9.7
補助金等収入	367	517	▲150	▲29	0.9
附属病院収入	24,240	23,000	1,240	5.4	61.1
雑収入	458	196	262	133.7	1.2
外部資金間接経費収入	145	135	10	7.4	0.4
目的積立金等繰入	383	383	0	0	1.0
合　　計	39,690	38,347	1,343	3.5	100.0

（３）支出内訳

人件費は、給与改定や附属病院の看護師等の増員により２８２百万円の増加、診療経費は診療材料費の増等により１，０６８百万円の増加。債務償還経費の増加等。

（単位：百万円，％）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減額	増減率	令和５年度支出割合
人件費		19,294	19,012	282	1.5	48.6
内訳	給与費	18,321	18,017	304	1.7	46.2
	（学部等）	(9,276)	(9,139)	(137)	(1.5)	(23.4)
	（附属病院）	(9,045)	(8,878)	(167)	(1.9)	(22.8)
	退職手当	973	995	▲22	▲2.2	2.4
物件費		19,094	18,143	951	5.2	48.1
	教育経費	534	532	2	0.4	1.4
	研究経費	337	350	▲13	▲3.7	0.8
	診療経費	16,053	14,985	1,068	7.1	40.4
	教育研究支援経費	779	791	▲12	▲1.5	2.0
	一般管理費等	877	909	▲32	▲3.5	2.2
	学長戦略経費	514	576	▲62	▲10.8	1.3
	（教育）	(197)	(154)	(43)	(27.9)	(0.5)
	（研究）	(231)	(255)	(▲24)	(▲9.4)	(0.6)
	（地域連携等）	(86)	(167)	(▲81)	(▲48.5)	(0.2)
債務償還経費		1,297	1,182	115	9.7	3.3
予備費		5	10	▲5	▲50	0
合　　計		39,690	38,347	1,343	3.5	100.0

３．令和５年度の主な事業

令和５年度は、学長のリーダーシップのもと、第４期中期目標・中期計画を実現するための事業を実施し、本学のミッション実現に向けた取り組みを、戦略的かつ効果的に推進する。

（１）研究の推進　　２３１百万円

〇創発科学研究拠点（産学共創リサーチ・ファーム）での
　研究プロジェクトの推進

〇研究推進事業の実施
　・科研費の獲得強化
　・萌芽研究の推進
　・若手研究者及び女性研究者の支援
　・研究連携の推進

〇若手教員の在外研究の実施

〇特別推進研究の実施
　【創発研究（リサーチファーム・プロジェクト）枠】
　・持続可能な地域モビリティの実証研究
　・資源の再利用による高機能化と脱炭素化
　【ＳＤＧｓ推進枠】
　・ＳＤＧｓ推進人材育成プロジェクト
　・瀬戸内圏環境資源研究イニシアティブ
　　「漁場環境持続性強化・実証研究」プロジェクト等
　・地域課題解決のためのＳＤＧｓ推進強化事業

〇プロジェクト研究の推進
　・希少糖イノベーションの拠点形成
　・レジリエント社会の創造
　・デバイス技術による未来開拓
　・赤外分光イメージングによる新技術創出（イノベーションデザイン研究所）
　・ゲノム解析技術の拠点化
　・包括的健康イノベーションの創出

（２）教育の充実　　１９６百万円

〇ＤＲＩ教育の推進

〇数理・データサイエンス・ＡＩ教育の強化

㊨医学部再開発（総合教育・研究棟改修事業）の実施
　　医学部講義実習棟を改修し機能強化

〇Ｄ＆Ｉ（ダイバーシティ＆インクルージョン）の推進

〇ネクストプログラムの推進

〇グローバル人材育成

〇法務・公務人材育成

〇学生支援プロジェクト等の推進

㊨障害学生支援の充実
　　障害学生支援のための人的・物的環境の充実

〇講義室ＩＣＴ環境の整備

〇附属学校園の教育環境の整備

〇四国の大学間連携による大学教育の共同実施　等

（３）地域連携の推進　　７４百万円

〇ＤＸを活用した社会人リカレント教育の実施
〇地域定着を意識した就職支援の推進
〇地域と連携した学生参加型実践教育プログラムの実施
〇香川と都市圏の大学連携の促進
〇感染症教育センターの運営
〇アントレプレナー育成プログラムの構築
〇レジリエント社会の創造及びサスティナブルな
　地方分散型社会への貢献（再掲）

（４）ＤＸ化の推進　　１４１百万円

㊨情報化推進統合拠点の整備
　情報化やＤＸ推進を担う情報化推進統合拠点を整備し、ＤＸ推進人材の育成、ＤＸ推進の取り組みを創出・実践
㊨ＤＸ統合生体医農工学共用システムの整備
（令和４年度補正予算繰越）
　ＩＴ環境の有機的共用化による研究ＤＸ化の基盤形成

４．学部等に対する教育研究活動実績状況に基づく運営費の配分

学部等の運営費予算の配分においては、各学部等の教育研究活動の成果を予算に反映させるため、活動実績に基づく運営費の配分を行う。

（１）学部等の運営費配分

①評価指標（文部科学省の成果を中心とする実績状況に基づく配分の指標）
・卒業・修了者の就職・進学率
・新規採用者に占める若手研究者比率
・常勤教員当たり研究業績の伸び率
・科研費獲得額・獲得件数の伸び率
②評価配分率：８０％～１２０％
③配　分　額：４３百万円

（２）科研費等の外部資金獲得額に基づく研究費等の追加配分

①評価指標（本学の独自指標）
・学部等の外部資金獲得額の伸び率
②評価配分率：８０％～１２０％
③追加配分額：１０百万円（間接経費の法人本部分）

５．附属病院事業

附属病院については、診療及び教育研究活動と併せて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等を踏まえて、病院経営の安定化を図る。

【収入】
・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に合わせて、病床稼働率の上昇により入院患者数を令和元年度水準以上に回復させる。

・手術件数の増加、超音波センター立ち上げによる超音波検査件数の増加、新たな施設基準の届け出による各種診療報酬上の加算の取得などによる入院診療単価の上昇等積極的な増収策を講じる。
・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（空床補償）については、感染症法上の位置づけの変更が予定されている５月８日までの間、病床確保を継続することとし見込額を計上する。
・令和５年２月に完成した敷地内薬局の土地貸付料収入を見込んでいる。

【支出】
・人件費については、病床稼働率の回復に伴う入院患者数の増に対応するため、人員補充などによる増加を見込んでいる。
・診療経費については、令和４年度の実績値を基に、入院患者数及び手術件数の増加に伴う医療材料費等の増加、光熱水費や委託費等の増加を見込んでいる。

【令和５年度の主な施設設備整備事業】
〇電子カルテシステムの更新
６年リース契約が終了する電子カルテシステムの更新を行い、併せて電子カルテシステムと連携した各種部門システムの更新を行う。

【附属病院予算の収入・支出の内訳】

（単位：百万円，％）

区分		令和５年度	令和４年度	増減額	増減率
収入	附属病院収入	24,240	23,000	1,240	5.4
	（入院）	(16,891)	(14,767)	(2,124)	(14.4)
	（外来）	(7,349)	(8,233)	(▲884)	(▲10.7)
	運営費交付金	1,529	1,548	▲19	▲1.2
	補助金等	106	245	▲139	▲56.8
	（空床補償）	(97)	(159)	(▲62)	(▲39.0)
	（その他）	(9)	(86)	(▲77)	(▲89.5)
	目的積立金等繰入	669	394	275	69.8
	計	26,544	25,187	1,357	5.4
支出	人件費	9,045	8,878	167	1.9
	物件費	16,202	15,127	1,075	7.1
	（診療経費等）	(16,053)	(14,985)	(1,068)	(7.1)
	（一般管理費等）	(149)	(142)	(7)	(4.9)
	債務償還経費	1,297	1,182	115	9.7
	計	26,544	25,187	1,357	5.4

６．施設整備計画

施設整備計画は別表のとおりである。

別表

令和5年度施設整備事業

事　　業　　名		事　業　概　要	財 源 内 訳
幸町団地	（幸町）北2号館屋上防水改修	老朽化の著しい幸町北2号館の屋上防水改修	施設費交付金
三木町医学部団地	（三木町医学部）講義実習棟改修	老朽化の著しい講義実習棟の老朽改善及び機能強化を実施	施設整備費補助金
三木町農学部団地	（三木町農学部）ライフライン再生（給排水設備）	老朽化の著しい三木町農学部キャンパスの排水設備及び消火設備のライフライン再生	施設整備費補助金
三木町医学部・林町団地	（三木町医学部他）災害復旧事業	落雷により被災した三木町医学部団地基礎臨床研究棟及び林町団地講義棟の機器等の復旧	施設整備費補助金